ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132L003	技術科授業研究（中等） I (Studies in Teaching of Industrial Arts I (Junior High School))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫		火1	日本語	英語	オムニバス

担当教員	氏名　市原靖士，中原久志，萩嶺直孝，杉山昇太郎 E-mail　ichihara-yasushi@oita-u.ac.jp(市原)，nakaharah@oita-u.ac.jp(中原)，hagimine@oita-u.ac.jp(萩嶺)，sugiyama-s@oita-u.ac.jp(杉山)　内線　7587(市原)，7590(中原)，7547(萩嶺)，7591(杉山)
授業の概要	技術分野の内容ＡからＤについて，その学習内容を理解するために，それぞれの内容を研究する。その際，情報機器を活用した学習活動についても取り扱う。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	中学校技術・家庭科技術分野における実践的指導力を身に付ける。		○		○				
目標2	授業に関する理論と実践の往還をめざし、各学習内容とその指導内容に関して理解する。		○		○				
目標3									
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	5		5				

授業の内容	
1	オリエンテーション（担当：中原）
2	ガイダンス的な内容（担当：中原）
3	内容「A 材料と加工の技術」①社会で利活用されている技術（担当：中原）
4	内容「A 材料と加工の技術」②材料と工具、加工法（担当：中原）
5	内容「A 材料と加工の技術」③製作品の構想・設計・製作・評価（担当：中原）
6	内容「B 生物育成の技術」①生物の生育環境（担当：市原）
7	内容「B 生物育成の技術」②生物の育成技術（担当：市原）
8	内容「B 生物育成の技術」③生物の育成計画と実施（担当：市原）
9	内容「C エネルギー変換の技術」①機器の仕組み（担当：萩嶺）
10	内容「C エネルギー変換の技術」②機器の保守点検（担当：萩嶺）
11	内容「C エネルギー変換の技術」③製作品の設計・製作（担当：萩嶺）
12	内容「D 情報の技術」①情報通信ネットワークと情報モラル（担当：杉山）
13	内容「D 情報の技術」②双方向性のあるプログラミング（担当：杉山）
14	内容「D 情報の技術」③プログラムによる計測・制御（担当：杉山）
15	技術の評価・判断力の育成（担当：市原）

アクティブラーニング				その他の工夫	
	A:知識の定着・確認		調査，発表及び討論を行う		具体的な中学校技術科における授業・実践事例について取り扱う
	B:意見の表現・交換	○			
	C:応用志向				
	D:知識の活用・創造				

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	中学校技術・家庭科（技術分野）の教科書を熟読する(30h)
	事後学修	課題レポートを作成する(30h)
	想定時間合計	

教科書	中学校学習指導要領(978-4827815795) 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(978-4304021541) 新しい技術・家庭技術分野　東京書籍(978-4487123810) 技術・家庭技術分野　開隆堂（978-4304081002）
参考書	技術科教育概論(978-4798502335)

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	受講態度	30%	○	○								
	課題レポート	40%	○	○								
	最終試験	30%	○	○								

注意事項	なし
備考	※この科目は『地域創生教育科目』です。
リンク	
URL	
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	中学校教員（市原・中原・萩嶺），高校教員（杉山）